

ぼうさい通信 Vol.85



毎月１６日は「防災教育啓発の日」

令和７年３月１４日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 「今年度のまとめ」

今年度も「ぼうさい通信」をご愛読いただき、ありがとうございました。今年度は計１０回の発行を行いました。３月号では、クイズ形式で今年度を振り返りたいと思います。全問正解を目指して、ぜひ挑戦してみてください。

【７６号（五月）『落雷事故の防止について』】

・積乱雲が近づいている際の特徴として正しくないものはどれですか。

1. 雷の音が聞こえてくる
2. 空が真っ黒な雲で覆われる
3. 突然冷たい風が吹く
4. 気温が急に高くなる

【７７号（六月）『大雨～線状降水帯について～』】

・線状降水帯による大雨が予測される場合の正しい避難行動はどれですか。

1. 川や土砂災害の危険がある地域でも、自宅で様子を見る
2. 避難の準備はせず、状況が悪化してから急いで避難する
3. 気象情報や避難情報を確認し、明るいうちに避難する
4. 避難先は必ず自治体の指定する避難所でなければならない

【７８号（七月）『夏の台風』】

・強風対策として適切でないものはどれですか。

1. 外に物を置かない
2. 窓を開けて風通しを良くする
3. 窓ガラスに養生テープを貼る
4. 雨戸をしっかり固定する

【７９号（九月）『南海トラフ地震について』】

・地震に備えるための行動として正しくないものはどれですか。

1. 家具を固定して転倒を防ぐ
2. 非常用持ち出し袋を用意しておく
3. 避難場所や避難経路を確認する
4. 避難用の準備は必要ない

【83号（一月）『冬の火災について』】

・冬に火災が起こりやすい主な理由として、どれが正しいですか。

1. 空気が乾燥しているから
2. 冬は雨が多いから
3. 暖房器具が少ないから
4. 気温が高いから

解答

【76号】正解は、4. 「気温が急に高くなる」

積乱雲が近づく際には、以下のような特徴が現れます：1 雷の音が聞こえてくる、2 空が真っ黒な雲で覆われる、3 突然冷たい風が吹き始めるなど。これらは積乱雲の接近を示す典型的な兆候です。一方、積乱雲が接近する際には通常、気温が下がる傾向があるため、「気温が急に高くなる」は誤りです。

【77号】正解は、3. 「気象情報や避難情報を確認し、明るいうちに避難する」

線状降水帯による大雨が予測される場合、危険が迫る前に早めの避難を行うことが重要です。特に暗くなると避難がより危険になるため、明るいうちに行動することが推奨されています。また、安全な場所として避難所だけでなく、親戚・知人の家や大型の施設なども選択肢として考えることが適切です。

【78号】正解は、2. 「窓を開けて風通しを良くする」

台風の強風では、窓が割れたり物が飛んできたりする危険があります。そのため、窓を開けて風通しを良くすることは逆効果です。代わりに、窓ガラスに養生テープを貼ったり、外に物を置かない、雨戸の「はずれ止め」をセットして風の影響を減らす対策が重要です。

【79号】正解は、4. 「避難用の準備は必要ない」

地震の発生に備えるためには、家具の固定、非常用持ち出し袋の準備、水や食料の備蓄、避難場所や避難経路の確認が非常に重要です。避難用の準備をしないことは、緊急時に命の危険を招く可能性があるため、誤った行動となります。

【83号】正解は、1. 「空気が乾燥しているから」

冬の季節は湿度が低く、空気が乾燥します。乾燥した物は、わずかな火の気で引火しやすくなるため、ちょっとした火花や熱源で火災が発生するリスクが高まります。

何問正解できましたか。来年度も「ぼうさい通信」を読んで災害を未然に防ぐ意識を高めましょう。一年間ご愛読ありがとうございました。

【文責 全日制防災担当】

くまもとマイタイムライン（デジタル版 マイタイムライン）は、
<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。